

事務連絡
令和5年4月28日

各部総務担当課長
出納局会計課長
企業庁総務課長
病院局企画課長
議会事務局総務課長
教育委員会事務局総務課長
各行政委員会事務局総務担当課長
各県民局・県民センター総務担当室長

様

企画部情報政策課長
企画部デジタル改革課システム企画官

ChatGPTの適切な利用について

ChatGPTの利用について、情報セキュリティ確保の観点等から、下記のとおり通知しますので、貴部局内への周知をお願いします。

記

1 ChatGPTの概要

- ・2022年11月末に米OpenAI社が、対話に特化した言語モデル「GPT-3」を元に構築したAIチャットボットで、自然な文章を生成可能。
- ・AIの進化により、連続した会話でも文脈に基づいて自然な対話をすることが可能。
- ・現時点では、Web版は無料で、API版（ソフトウェアの一部を公開し、他のソフトウェアと機能を共有できるようにしたもの）は有料で利用可能。
- ・現在、Web版のChatGPTが利用するデータは2021年までのものに限定されており、最新の情報は反映されていない。

2 利用にあたっての留意事項

- ・ChatGPTに入力した質問内容は、サービス提供者のシステムに蓄積され、他者の質問への回答に利用される可能性がある。このため、職場で利用する場合は「チャット履歴の無効化」の設定（別添1参照）を行うとともに、「情報通信技術を活用した県行政の推進等に関する条例（デジタル手続条例）」に基づき定めている「兵庫県情報セキュリティ対策指針」の規定に従い、機密情報や個人情報は絶対に質問に含めないようにし、情報漏洩がないようにすること。

- ChatGPTは、著作権が含まれる元データを回答の生成に用いる可能性がある。このため、利用方法によっては著作権侵害のおそれがあるため留意すること。
- ChatGPTの回答は、表現は流暢であっても、誤った内容を含んでいるおそれがある。内容が正確かどうかはAI任せにせず、職員自身が必ず十分に確認すること。
- ChatGPTに限らず、生成系AI（機械学習によって新しいコンテンツを生み出す人工知能）には上記と同様の問題があるため、利用にあたっては十分に留意すること。
- ChatGPTのAPI版を活用した他社のサービスや他の生成系AI（例：Google社Bardなど）も同様の取り扱いとする。

3 今後の方針

ChatGPTをはじめとする生成系AIの活用方針について、庁内プロジェクトチームを立ち上げて検討し、今秋目途にガイドラインを取りまとめる予定。検討にあたっては生成系AIの活用が考えられる業務を抽出し、一部業務で実証を行うことを想定しており、別途各部に協力を依頼する予定。

（本通知に関する問合せ先）

- 情報セキュリティに関すること： デジタル改革課 システム企画班 内線2281
※デジタル改革課では、ChatGPTの利用方法等の問合せには対応していません。
- プロジェクトチームに関すること： 情報政策課 企画班 内線2161

【参考】兵庫県情報セキュリティ対策指針 関連規定抜粋 ※全文別添2

（情報資産の管理）

第16条 情報資産の管理に当たって、利用者は次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) データのき損、滅失等に備えるため、保管するデータのバックアップを定期的に作成すること。
- (2) 重要な情報資産はパスワードを施すなど適切な管理を行うこと。
- (3) 退庁時及び長時間離席する場合は、使用する端末等の電源を切ること。
- (4) 運用管理者の許可を得ず、情報システムで処理するデータ及びその複製を定められた場所から移動させないこと。
- (5) その他、自己の管理する情報が他に流出しないよう保護すること。

（利用禁止行為）

第18条 利用者は、情報システムの利用について次の各号に掲げる行為を行ってはならない。

- (1) 業務に関連しない目的で情報システムを利用すること。
- (2) 法令又は公序良俗に反した利用を行うこと。
- (3) 他の利用者又は第三者の著作権、人権及びプライバシーを侵害するおそれのある利用を行うこと。
- (4) 情報の改ざん、き損及び滅失並びに虚偽の情報提供を行うこと。
- (5) 通信を阻害する行為及び情報資産に損害又は不利益を及ぼす利用を行うこと。

2 運用管理者は、前項に該当する利用が行われていると認める場合は、当該利用者に対して情報システムの利用を停止することができる。

(参考) ChatGPT のチャット履歴の無効化設定について

ChatGPT (無料の Web 版) では、入力した質問内容がサービス提供者のシステムに蓄積され、他者への回答に利用される可能性がある。

これを回避するための「チャット履歴の無効化」設定が今般追加されたため、職場で利用する場合は、下記の手順で設定すること。

【設定手順】

The image illustrates the steps to disable chat history and training in ChatGPT. It shows a browser window with the ChatGPT interface. A red box highlights the user's email address in the bottom left corner, with a callout bubble stating "① ログイン ID の箇所をクリック" (Click the login ID location). Another red box highlights the "Settings" button in the bottom right corner, with a callout bubble stating "② Settings をクリック" (Click Settings). A third red box highlights the "Show" button under "Data Controls", with a callout bubble stating "③ Show をクリック" (Click Show). A fourth red box highlights the "Chat History & Training" toggle switch, which is currently turned on, with a callout bubble stating "④ クリックして OFF に変更" (Click to change to OFF).

① ログイン ID の箇所をクリック

② Settings をクリック

③ Show をクリック

④ クリックして OFF に変更

(詳細)

<https://help.openai.com/en/articles/7730893-data-controls-faq>